

《平成30年7月豪雨災害》

豪雨災害被災地への支援

RCCとニッポン放送でラジオ130台を寄贈

平成30年7月豪雨災害で被災された皆様に役立てていただくため、RCCでは系列キー局であるニッポン放送と協同でラジオ130台を寄贈しました。これらのラジオは、広島県災害対策本部経由で、被災地に届けられることになっています。

7月13日、広島県災害対策本部にて、RCCの岡畠鉄也社長から広島県災害対策本部の土井司危機管理監にワイドFM対応ラジオ130台を寄贈。土井危機管理監は「被災した方には情報が必要です。わたしたちも災害への警戒で情報をしっかり届けたいので、このラジオを活用させていただきます。」と述べられました。

RCCラジオでは、災害が発生した6日夜は朝まで特別番組を放送、以降も全てのワイド番組で豪雨災害に関する情報を中心にお送りしています。これからも被災地の皆さまに少しでもお役にたつ放送を続けて参ります。



RCCの岡畠社長より広島県の土井危機管理監にラジオ130台をお渡ししました。

RCCとニッポン放送で準備したラジオ130台。
被災者のみなさんのところに届けられます。

